

【例題 1】 動物の中樞神経系病変に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 豚の食塩中毒では、脳水腫や大脳皮質層状壊死が認められ、大脳皮質の血管周囲への好酸球浸潤が特徴的である。
2. 犬の肉芽腫性髄膜脳脊髄炎は、パグ脳炎とも呼ばれ、若齢の小型犬種のみで発生が報告されている。
3. 狂犬病ではネグリ小体と呼ばれる細胞質内封入体が、小脳のプルキンエ細胞のみに認められる。
4. スクレイピーでは、リンパ球を主体とする血管周囲への炎症細胞浸潤や小膠細胞による神経食現象が特徴的である。
5. 内水頭症は、血液脳関門の破綻などを原因として、過剰の組織液が脳実質内に貯留した状態である。

【正答 1】

【例題 2】 食物アレルギー症状を引き起こすことが明らかになった食品のうち、特に症例数、重篤度から勘案して表示する必要性の高い食品は「特定原材料」として定められ、法令で表示が義務付けられている。食品表示基準の一部改正により、2023年3月から「特定原材料」に追加された食品はどれか。

1. アーモンド
2. カシューナッツ
3. くるみ
4. 大豆
5. 落花生（ピーナッツ）

【正答 3】